

COMMUNICATION LETTER

博物館だより

2019.5 第24号
新潟市北区郷土博物館

〒950-3322
新潟市北区嘉山3452番地
TEL 025-386-1081
FAX 025-388-6290



北区文化会館での公演（正尺の神楽）

北区伝統芸能文化の祭典

平成30年11月25日(日)、「新潟市北区郷土博物館開館50周年事業」「特色ある区づくり事業」として、新潟市北区文化会館と共催で『北区伝統芸能文化の祭典』を開催しました。北区の郷土芸能についてのミニ講演、10の保存団体の公演、19団体の神楽のお頭展示、横笛の体験と盛りだくさんの内容でした。

北区には、近年復活した2つの神楽があり、そのステージも注目されました。一つは尾山の御山伊佐弥神楽です。平成27年、実に65年ぶりに復活し、尾山の豊田神社に奉納されました。もう一つは長戸呂の神楽です。こちらも約40年ぶりに復活しました。長戸呂の神楽は、平成28年の暮れ

に復活への取り組みが始まり、平成30年春に長戸呂の神明宮で奉納されました。多くの人たちの前で舞うのは今回が初めてでした。

当日は、御山伊佐弥神楽と長戸呂の神楽の公演前に、それぞれの復活までの道のりを、「復活ストーリー」として、スライドで紹介しました。これをご覧になって、ご自分の地域で休止している郷土芸能を復活させてみようと思われた方もおられたことでしょう。

この日の催しでは、地域で大切に伝えられてきた芸能や、太鼓や笛、また各芸能にまつわる道具もたくさんご覧いただくことができました。

地域の宝 郷土芸能の伝承にむけて

—「特色ある区づくり事業」「新潟市北区郷土博物館開館50周年記念事業」—

平成30(2018)年は平成として実質最後の年にあたります。そして新潟市北区郷土博物館が開館して50周年にあたる年になります。昭和43(1968)年11月に今の北区役所がある場所に豊栄町博物館として開館し、昭和56(1981)年に現在の場所へ新築移転しました。平成17(2005)年には新潟市などと広域合併し、新潟市豊栄博物館となり、平成23(2011)年には新潟市北区郷土博物館となっています。

さて、新潟市北区には新潟市指定無形民俗文化財8件をはじめ、多くの郷土芸能が受け継がれています。このたび、当館開館50周年を記念し、また、平成28(2016)年度から取り組んでいる「特色ある区づくり事業」として、平成30(2018)年11月25日、「北区伝統芸能文化の祭典」を北区文化会館とともに開催しました。この祭典では、市

指定無形民俗文化財を含む10団体の公演と、現在休止中の神楽を含む19団体の神楽のお頭の展示、また、保存会の方を講師とし、横笛の体験会などを行いました。

地域の商店街の皆様にもポスター掲示などご支援をいただきました。その結果、来場者数は延べ600人となり、多くの方々が足を運んでくださいました。

祭典の開催にあたり、各保存団体、各商店街、自治会長はじめ地域の多くの皆様にご協力をいただきました。この場を借りて御礼申し上げます。

今年度(2019年度)は、昨年に引き続き、各保存団体の活動の紹介、課題等の解決に向け、恒例の「博物館まつり」での発表会、平成15年以前に収録した郷土芸能の映像のデジタル化で、長期保存と活用を促進していきます。

館長 木村 隆行



松浜太鼓



木崎の神楽



豊栄おどり



内島見の神楽



高森の神楽



御山伊佐弥神楽



松浜盆踊り



樽砧(尾山団地)



長戸呂の神楽

「北区伝統芸能文化の祭典」関連イベント 神楽のお頭大集合

この日、北区文化会館に19団体の神楽のお頭が勢揃いしました。当日ステージで公演した団体のほかにも協力してくださった団体、また後継者不足などで休止中の8団体のお頭も展示されました。

休止している地域のお頭は、自治公民館や個人のお宅で大切に保管されていたものを、自治会長はじめ地域の

皆様が会場に運んでくださり、久々のお披露目の機会となりました。自分が住んでいる地域のお頭を初めて見たという人もいたかもしれません。

来場者は、それぞれのお頭を見比べたり、厄払いに頭を咬んでもらったり、写真を撮ったりしていました。また、スタンプラリーもこの日の思い出にしていただけました。



❖ 『第28回 博物館まつり』 郷土芸能発表会 11月3日 ❖



長場の神楽

「北区伝統芸能文化の祭典」に先駆けて、博物館まつりでは、恒例の郷土芸能の発表会を開催しました。

当日は天候に恵まれ、博物館の前庭を会場に、計6団体による舞や踊り、太鼓といった北区の郷土芸能が披露されました。



新崎伊佐弥神楽



大瀬柳の神楽



新崎樽ばやし



新崎甚句

北区伝統芸能文化の祭典と、郷土芸能発表会(博物館まつり)については、p.6～7とp.9もあわせてご覧ください。

I 展示活動

1 常設展示「阿賀北の大地と人々の暮らし」 (考古・歴史・民俗・芸術(書))

2 企画展

(1) 所蔵作品公開 美術のなかの自然展

「自然とはなにか」という問いを手がかりに、地域の人々の生と自然との関わりを提示する企画。当館所蔵の絵画と立体9点の作品により、「現実の世界」と「表現された世界」の違いに着目し、作家独自の世界観と、作品として「表現された自然」について思い巡らしてもらうことを目的として開催。

- ・会期 3/17(土)～6/17(日)
- ・入館者数 1,877人
- ・展示点数 絵画6点 立体造形3点
- ・出品作家 川嶋宣彦、齋藤満栄、鈴木香雲、高橋清、高松次郎、月岡徳恵、長沢明、渡辺雪子
- ・リーフレット A4 8頁(カラー)
- ・作品鑑賞会 講師：神田直子
 - ・4/15(日) 参加者 16人
 - ・5/20(日) 参加者 6人
 - ・6/17(日) 参加者 10人



作品鑑賞会

(2) 平成30年度「新潟地震」巡回パネル展

市民の防災意識向上のために、新潟市が行った啓発事業。市内各区を巡回。

- ・会期 5/25(金)～6/12(火)
- ・入館者数 406人
- ・貸館事業 主催 新潟市(北区担当 北区地域総務課)

(3) 第35回 菱湖会書展

北区在住の書家 小黒五稜氏主宰の書道グループ「菱湖会」との共催展。会員の作品29点を展示。

- ・会期 7/13(金)～7/16(月・祝)
- ・入館者数 313人
- ・共催事業 主催 菱湖会・新潟市北区郷土博物館



菱湖会書展

(4) 第21回 松蔭賞書道展

郷土出身の書家 弦巻松蔭にちなんで開催。書に親しむ機会づくりの一環として市内の児童・生徒から課題作品を公募して開催した。入賞作品221点を展示。

- ・会期 7/28(土)～8/26(日)
- ・入館者数 1,015人
- ・対象 新潟市内の小学校3年生～中学生
- ・審査員 小黒五稜氏(書家・新潟県書道協会顧問)
岡村鉄琴氏(新潟大学教育学部教授)
和泉哲章(新潟市教育委員会副参事)
伊豆名皓美氏(にいがた文化の記憶館学芸員)
- ・参加校
 - ・北区内 … 小学校12校・中学校7校
 - ・市内他区 … 小学校 2校・中学校3校
 - ・書道教室 … 7校
 - ・その他 … 個人出品
- ・出品点数 (点)

小3	400	中1	295
小4	551	中2	13
小5	383	中3	11
小6	476	教室・個人	151
合計		2,280	

- ・入賞者数
 - ・松蔭賞 7人(各学年1人)
 - ・優秀賞 21人(各学年3人)
 - ・特選 66人(各学年10人程度)
 - ・佳作 127人(各学年20人程度)
- ・リーフレット A4 8頁(モノクロ)



松蔭賞書道展

(5) 第12回 新潟市北区こども科学展

北区の小中学校児童・生徒が、夏休みに取り組んだ創意工夫、探究心にあふれる作品を発表・展示した。最優秀賞2人、優秀賞11人を選出。

- ・会期 9/22(土)～10/8(月・祝)
- ・入館者数 1,096人
- ・対象 北区内の小・中学生
- ・審査員 永井喜博氏(新潟市立濁川中学校校長)
菊地順子氏(新潟市立濁川小学校校長)
今井真悟(新潟市北区教育支援センター指導主事)
佐々木勇(新潟市北区地域課長(副区長))
木村隆行(当館館長)
- ・参加校 区内小学校11校・中学校1校
- ・出品点数(出品者数) …196点(197人)
 - ・模型の部 …102点(102人)
 - ・標本の部 …19点(19人)
 - ・発明工夫の部 …18点(19人)
 - ・自然科学写真の部 …57点(57人)
- ・リーフレット A4 4頁(モノクロ)



北区こども科学展

(6) 弦巻松蔭 —学書と模索の時代展

自己の書の確立を目指して学書、模索した弦巻松蔭(1906-95)が、上田桑鳩に師事した在京時代(1936-45)をはさんで、1933年から1956年に制作した作品を展示。

- ・会期 11/17(土)～12/16(日)
- ・入館者数 652人
- ・展示点数 12点
- ・出品作家 弦巻松蔭、貫名菘翁、
比田井天来、池田鷺村、上田桑鳩
- ・リーフレット A4 8頁(カラー)
- ・展覧会鑑賞ガイド 講師：神田直子
 - ・11/18(日) 参加者16人
 - ・12/16(日) 参加者23人



展覧会鑑賞ガイド

(7) 常設展拡大企画「昭和の暮らし展—「着る」にまつわる道具たち」

小学校3年生社会科「昔の道具と暮らし」の学習に対応するため、平成28年度から開催。約60年前までに使われていた衣類にかかわる昔の道具(民俗資料)や写真の展示を通して、北区の昔の暮らしの一端を紹介するとともに、現代とは違い、物が少なかった時代の人々の知恵や工夫を紹介。

- ・会期 平成31. 1/4(金)～令和元. 5/19(日)
- ・入館者数 1,639人(平成31. 1/4～3/31)
- ・リーフレット A4 4頁(モノクロ)
- ・会期中の催し
 - ・手織り体験と葛塚縞手織り機の実演見学
1/26(土)、2/9(土)、2/23(土)、
3/9(土)、3/23(土)
協力：葛塚縞手織りの会
 - ・むかしのおもちゃであそぼう(随時)
 - ・むかしの衣類を着てみよう(随時)



昭和の暮らし展

II 普及事業(講座・教室、レファレンス等)

1 北区郷土博物館開館50年・戊辰戦争150年記念「北区の戊辰戦争ゆかりの地バス巡り」

戊辰戦争から150年の節目にあたり、北区や新発田市にある“北区の戊辰戦争”ゆかりの地を巡るバスツアーを開催。

- ・開催日と参加者数
7/21(土)23人、9/24(月・祝)20人
- ・協力 新潟戊辰の会(7/21・9/24)、
小島勝治氏(7/21)



バス巡り(松浜・石原倉右衛門殉難遺蹟の碑)

2 夏休み はくぶつかん体験コーナー

特色ある区づくり事業(担当:北区地域総務課)「公共施設利用促進バス事業」に伴い開催。

- ・開催期間 7/28(土)～8/26(日)
- ・参加者数 延べ266人
- ・内容 水書き習字、北区パズル、北区クイズ、
金文クイズ、野良着を着てみよう
- ・協力 市民ガイド



北区クイズの答え合わせ

3 第28回 博物館まつり

見る、聞く、触れるなど体験・実演コーナーなどを通して伝統文化を学ぶ。

- ・開催日 11/2(金)～11/4(日)
- ・参加者 延べ394人
- ・催し物
 - ・実演・体験・チャレンジコーナー(11/3・4)
(消しゴムハンコ・ワラなべしき・竹とんぼ作り、葛塚縞手織りの実演と体験)
 - ・昔ばなしを楽しもう(11/3)
 - ・郷土芸能発表会(11/3)(p.3に詳細を掲載)
 - ・お楽しみ抽選会(11/3)
 - ・北宝隊のガイドで「葛塚歴史ウォーク」(11/4)
(会場提供) ・チャリティー骨董市(11/2～4)
・パッチワーク小物の販売(11/3・4)
- ・協力 大月優子、倉島百合子、佐藤則子、関このみ、月岡徳恵、成澤清子、橋本弘、早川ミハル、藤田久美子、新潟医療福祉大学生(阿部晃平、小川幸音、佐藤菜、仲川真由、深谷くるみ、山村安優美)、郷土芸能保存団体(p.9に6団体の名称を掲載)、葛塚縞手織りの会、北宝隊、チャリティー骨とう市実行委員会(敬称略)



昔ばなしを楽しもう



葛塚歴史ウォーク

4 北区郷土博物館開館50周年記念事業・ 特色ある区づくり事業 「北区伝統芸能文化の祭典」

北区で活動する神楽や太鼓、盆踊りといった郷土芸能保存団体(10団体)による公演を行った。また、併せて、ミニ講演、北区に伝わる19の神楽のお頭(獅子頭)の展示、スタンプラリー、横笛の演奏が体験できるワークショップも開催した。

- ・開催日 11/25(日)
- ・入場者数 延べ600人
- ・主催 新潟市北区郷土博物館、新潟市北区文化会館
- ・会場 新潟市北区文化会館
- ・内容(p.1～3に詳細を掲載)
 - ・北区の郷土芸能保存団体(10団体)による公演
 - ・ミニ講演「北区の郷土芸能について
～神楽舞と獅子舞を中心に～」
講師:宮崎芳春氏(元当館館長)
 - ・神楽のお頭大集合とスタンプラリー(19団体)
 - ・横笛を吹いてみよう
講師:石田孝雄氏(御山伊佐弥神楽保存会)
猪股直樹氏(正尺神楽保存会)
森田貴大氏(木崎三柱会)
- ・出演団体(50音順)
内島見神楽保存会、御山伊佐弥神楽保存会、
尾山団地樽きち会、木崎三柱会、正尺神楽保存会、
高森神楽保存会、豊栄郷土民謡保存会、
長戸呂平成会 神楽、松浜太鼓保存会、
松浜盆踊り太鼓保存会

- ・お頭大集合 協力団体(50音順)
浦木自治会、大瀬柳神楽保存会、大月自治会、御山伊佐弥神楽保存会、上大月自治会、嘉山神楽保存会、木崎三柱会、下土地亀神楽保存会、正尺神楽保存会、高森神楽保存会、高森新田自治会、竹の通神楽連、他門神楽保存会、鳥屋自治会、長戸呂平成会 神楽、長場神楽保存会、新崎伊佐弥神楽保存会、濁川一丁目自治会、山飯野自治会
- ・リーフレット A4 4頁(カラー)

5 ふるさと学習対応

学校教育や地域などと連携し、博物館資料の紹介や、展示見学の利用を図る。

(1) 一般の団体見学

- ・水と土の芸術祭市民プロジェクト「北区 水と土の歴史をたどるプロジェクト まちの探検・まちを知ろう」
7/22(日) 20人 講師：曾部珠世
- ・北区のEM普及会(北区の遺跡・遺物について)
12/19(水) 14人 講師：曾部珠世

(2) 学校教育としての見学

- ・五十嵐中学校1年生(北区について)
10/18(木) 34人
講師：曾部珠世、市民ガイド4人
- ・岡方第二小学校3年生(昔の農業について)
11/7(水) 17人 講師：市民ガイド3人
- ・葛塚東小学校4年生(福島潟の干拓の歴史)
11/21(水) 65人 講師：曾部珠世
11/22(木) 65人 講師：曾部珠世
- ・木崎小学校3年生(昔の道具とくらし)
平成31. 1/17(木) 32人
講師：齋藤加奈、市民ガイド4人、
平成31. 1/31(木) 34人
講師：曾部珠世、齋藤加奈、市民ガイド3人



昔の道具とくらし(下駄と角巻の試着)

- ・岡方第二小学校3年生(昔の道具とくらし)
平成31. 2/13(水) 17人
講師：曾部珠世、齋藤加奈、市民ガイド1人

- ・葛塚小学校3年生(昔の道具とくらし)
平成31. 2/21(木) 32人
講師：曾部珠世、市民ガイド3人
平成31. 2/22(金) 32人
講師：曾部珠世、市民ガイド3人
平成31. 2/28(木) 30人
講師：曾部珠世、市民ガイド3人

6 レファレンス

- ・市民の郷土史学習サポート・資料調査協力、郷土史関連図書の閲覧
- ・博物館や大学など研究機関への協力

7 刊行物の販売

- ・当館の有償刊行物のリストを、表紙イメージ入りでホームページに掲載開始
- ・「新潟市北区郷土博物館 常設展示案内 阿賀北の大地と人々のくらし」頒布開始

Ⅲ 市民ガイド(常設展示ボランティアガイド)活動

1 市民ガイド研修

市民ガイドのスキルアップと情報の共有を図る。

(1) 県立歴史博物館の企画展・常設展見学

- ・開催日 8/9(木)
- ・研修場所 新潟県立歴史博物館
- ・参加者 7人(ほかに、北宝隊、北区古文書解読研修会より5人)

・内容

当館所蔵の北辰隊関係資料(新潟市指定文化財)を出品した夏季企画展「戊辰戦争150年展」を、担当の田邊主任研究員の解説を受けながら視察。常設展示を音声ガイドを用いて見学し理解を深めた。

(2) 新潟市歴史系博物館・資料館ボランティア交流会

- ・開催日 12/6(木)
- ・研修場所 江南区郷土資料館
- ・参加者 2人

・内容

新潟市内の歴史系博物館・資料館のボランティアスタッフとの意見交換や情報共有を行う。ほかに、研修場所となる施設のボランティアスタッフの案内のもとで施設見学を行い、自身のガイドスキルや、ガイドに対する意識の向上を図った。

(3) 「昭和のくらし展-「着る」にまつわる道具たち」におけるガイド研修

- ・開催日 平成31. 2/23(土)
- ・研修場所 北区郷土博物館
- ・参加者 2人

・内容

職員による展示紹介と、手織り機の実演見学・機織り体験を通して、展示資料の詳細や、機織りの仕組みなどを学び、理解を深める。また、これまでの活動報告や意見交換を行った。

・講師 曾部珠世



ガイド研修(手織り機の実演見学)

(4) 新発田市立歴史図書館開館記念特別講演会の聴講

- ・開催日 平成31. 3/10(日)
- ・研修場所 新発田市生涯学習センター
- ・参加者 3人(ほかに、北区古文書解読研修会より2人)
- ・内容
「新発田藩の記録と歴史」(講師：原直史 新潟大学人文学部教授)を聴講し、見聞を広めた。

2 市民ガイドの活動実績

- ・一般団体対応 5回
見学者 170人、市民ガイド延べ15人
- ・学校対応(再掲) 8回
見学者延べ228人、市民ガイド延べ24人
- ・個人対応 10回
見学者延べ185人、市民ガイド延べ24人

IV 他機関・他施設の事業および調査研究への協力

1 博物館実習受け入れ

博物館学芸員養成課程履修の実習受け入れ

- ・新潟大学4年生 1人
8/23(木)～8/31(金)7日間

2 中学生・高校生職場体験

- ・光晴中学校2年生 2人
7/11(水)～7/13(金)3日間
- ・県立豊栄高等学校2年生 2人
7/31(火)～8/2(木)3日間
- ・木崎中学校2年生 2人
10/10(水)～10/11(木)2日間



中学生職場体験(文化財等説明板の点検)

3 その他の事業協力

(1) 公共彫刻の移設事業への協力

北区役所1階から北区文化会館ロビーへ 戸張公晴氏の彫刻作品を移設するにあたっての協力。

- ・事業担当機関および所有機関
北区地域総務課・北区文化会館
- ・担当 神田直子(作家との調整、撤去、移動・設置の助言、立ち合い)

(2) 豊栄図書館歴史講座「北区の古代ロマン」関連展示への協力

豊栄図書館で講演会の内容に関連した写真展示を行うため、当館所蔵の写真パネル・説明パネルの選定、貸出、展示作業を行った。

- ・展示期間 10/23(火)～12/4(火)
- ・展示内容 北区遺跡分布図、区内遺跡の発掘調査写真など
- ・担当 曾部珠世、木村隆行
- ・協力 遠藤恭雄学芸員(市文化財センター・講演会講師)

(3) 平成30年度 豊栄地区公民館子ども体験・ボランティア活動推進事業「サタディキッズ」への会場・体験内容の提供、学生ボランティア指導

- ・開催日 平成31. 2/9(土)
- ・事前学生指導日 平成31. 1/22(火)
- ・参加者 小学生37人、新潟医療福祉大学生17人、公民館活動協力員4人

- ・内容
風呂敷包み体験、野良着の試着、昔のあそび(釘立て、めんこ、けん玉、お手玉、あやとり)、方言でジェスチャークイズ



昔のあそび(けん玉・お手玉・あやとり)

4 講師派遣

(1) 「美術館に係る学習会」での講演

- ・開催日 6/16(土)
- ・参加者 80人
- ・主催 阿賀北美術協会
- ・会場 新発田市生涯学習センター
- ・講演テーマ
「美術館とは、どんなもの?—美術館と美術と私たちとの密なる関係」
- ・講師 神田直子

(2) 「にいがたデジコングランプリ2018」における審査員の受嘱

- ・主催 特定非営利活動法人 にいがたデジタルコンテンツ推進協議会
- ・受嘱期間 7月～11月
- ・受嘱職員 神田直子

(3) 出前授業(小学校3年生 総合学習「木崎地域ってどんなところ?」)

- ・開催日 9/13(木)
- ・対象 木崎小学校3年生 61人
- ・会場 木崎小学校
- ・講師 木村隆行

(4) 「会津・越後・長州 3地域連携市民フォーラム」での講演・番組撮影への協力

- ・開催日 10/6(土)
- ・参加者 110人
- ・主催 明治150年プロジェクト実行委員会
- ・会場 豊栄地区公民館
- ・講演テーマ 「新しい時代を求め行動した草莽の人 遠藤七郎と北辰隊」
- ・講師 曾部珠世

(5) 「とよさか中高年教養大学・一般教養講座」での講演

- ・開催日 10/13(土)
- ・参加者 40人
- ・主催 とよさか中高年教養大学
- ・会場 葛塚コミュニティーセンター
- ・講演テーマ 「書家・弦巻松蔭とふるさと」
- ・講師 神田直子

(6) 出前授業(小学校3年生 社会科「昔の道具とくらし」)

- ・開催日 平成31. 1/30(水)
葛塚東小学校3年生4クラス(110人)
- 平成31. 2/6(水)
早通南小学校3年生4クラス(105人)
- ・主催 新潟市文化財センター
- ・博物館担当授業テーマ 「昔の遊び(昭和30年代頃)」
- ・講師 木村隆行、齋藤加奈

V 所蔵資料調査研究・保存

資料整理作業

- (1) 歴史資料の再整理(4月～平成31. 3月)
 - ・資料名 市指定文化財「豊栄市役所文書」のうち長浦支所文書
 - ・作業日数 延べ22日
- (2) 民俗資料の整理(郷土資料収蔵庫内の民俗資料の整理・配架)
 - ・作業日数 延べ9日(5月)
- (3) 美術資料整理作業
 - ・作業日数 延べ4日(平成31. 2月)

VI 北区文化財保護事業(指定文化財ほか)

公開・活用

- (1) 新潟県立歴史博物館、福島県立博物館、仙台市博物館へ市指定文化財「北辰隊関係資料」のうち4点を貸し出し
 - ・期間 6/29(金)～12/13(木)
- (2) 「博物館まつり」郷土芸能発表会(再掲)
 - ・開催日 11/3(土)
 - ・出演団体(6団体)(50音順)
大瀬柳神楽保存会、他門神楽保存会、長場神楽保存会、新崎伊佐弥神楽保存会、新崎甚匂保存会、新崎樽ばやし連



郷土芸能発表会(他門の神楽)

(3) 「北区伝統芸能文化の祭典」の開催(再掲)

- ・開催日 11/25(日)
- ・出演、協力団体(24団体)(p.6～7に掲載)

(4) 新潟市歴史博物館へ市指定文化財「木崎小作争議関係資料」のうち3点を貸し出し

- ・期間 平成31. 3/7(木)～令和元. 6月

(5) 文化財等説明板点検・修理

- ・点検 14件 ・板面修繕 4件
- ・塗装 6件 ・撤去 1件

I 郷土芸能伝承支援事業 (特色ある区づくり事業)

北区に伝わる神楽等郷土芸能保存団体の伝承に向けた取り組みを支援するため、また市民に広く北区の郷土芸能を紹介するため、記録映像のデジタル化と配布を行う。

II 開館50周年(2018)記念誌の発行

『開館50周年記念 新潟市北区郷土博物館年報・紀要(2009.4-2019.3)』(仮題)を作成・発行する。

III 展示活動

1 常設展示「阿賀北の大地と人々の暮らし」 (考古・歴史・民俗・芸術(書))

2 企画展

(1) 常設展拡大企画「昭和の暮らし展—「着る」にまつわる道具たち」

前年度1月からの継続。約60年前までに使われていた衣類にかかわる民俗資料や写真を展示。

- ・会期 平成31. 1/4(金)～令和元. 5/19(日)
- ・会期中の催し
 - ・手織り体験と葛塚縞手織り機の実演見学
4/6(土)、4/13(土)、4/20(土)、4/27(土)、
5/4(土)、5/18(土) 協力：葛塚縞手織りの会
 - ・展示解説会 講師：曾部珠世 4/27(土)

(2) 所蔵作品展「人間はどこにいる？」

所蔵作品を公開する第2回展。「作品」のなかに「人間」のありようを見つめる。

- ・会期 6/1(土)～7/15(月・祝)
- ・作品鑑賞会 講師：神田直子
6/9(日)、6/30(日)、7/14(日)

(3) 第22回 松蔭賞書道展

郷土出身の書家 弦巻松蔭にちなんで開催される競書大会。書に親しむ機会づくりの一環として市内の児童・生徒から課題作品を公募して開催する。入賞作品238点を展示。

- ・会期 7/27(土)～8/25(日)
- ・対象 新潟市内の小学3年～中学生
- ・作品募集締め切り 7/4日(木)

(4) 第13回 新潟市北区こども科学展

新潟市北区の小中学校児童・生徒が、夏休みに取り組んだ創意工夫、探究心にあふれる作品を発表・展示。

- ・会期 9/21(土)～10/14(月・祝)
- ・対象 北区内の小・中学生
- ・部門 模型、発明工夫、標本、観察・実験

(5) アートと道具のはざま展(仮題)

美術作品と民具を展示し、アートと道具の特性と2つの「はざま」について考える。

- ・会期 11/16(土)～12/15(日)

(6) 常設展拡大企画「昭和の暮らし展4」

今では使われなくなった道具から北区の昔の様子を紹介する企画の第4回展。体験コーナーを設置予定。

- ・会期 令和2. 1/4(土)～5/17(日)

IV 普及事業(講座・教室、レファレンス等)

1 はくぶつかん体験コーナー

見学・体験しながら北区の歴史と文化を学び、理解を深める。

- ・期間 7月～8月頃

2 第29回 博物館まつり

見る、聞く、触れるなど体験・実演コーナーなどを通して伝統文化を学ぶ。

- ・開催日 11/3(日)～11/4(月・休)

3 ふるさと学習

学校教育や地域などと連携し、博物館資料の紹介や、展示見学の利用を図る。

4 レファレンス

- ・市民の郷土史学習サポート・資料調査協力、郷土史関連図書の閲覧
- ・博物館や大学など研究機関への協力

5 刊行物の販売

V 市民ガイド(常設展示ボランティアガイド)活動

市民ガイドのスキルアップ研修、情報の共有、来館者対応の調整等。

VI 他機関・他施設への事業および調査研究協力

1 博物館学芸員課程履修の実習生受け入れ

- ・実習期間 8/22(木)～8/30(金)の7日間

2 体験学習等受け入れ

(中学生・高校生の職場体験)

VII 所蔵資料調査研究・保存

1 資料整理作業

歴史資料、美術資料等の整理作業

2 横井の丘ふるさと資料館の管理

3 郷土資料収蔵庫の管理運営

- ・環境整備・虫の侵入防止・空調管理
- ・民俗資料整理作業(台帳化、配架、くん蒸)

VIII 北区の文化財保護事業(指定文化財ほか)

1 調査

2 公開・活用

- ・郷土芸能発表会
- ・文化財等説明板修理

3 保護育成

- ・郷土芸能記録映像のデジタル化(郷土芸能伝承支援事業・再掲)
- ・県指定天然記念物「高森の大ケヤキ」保護等

〔平成30年度入館状況〕

・12/28～1/3は年末年始のため休館。横井の丘ふるさと資料館は現在休館中。

月別	入館者数(人)	主な行事
4月	649	所蔵作品公開「美術のなかの自然展」3/17～6/17
5月	554	平成30年度新潟地震巡回パネル展 5/25～6/12
6月	535	所蔵作品公開「美術のなかの自然展」3/17～6/17(計1,877人※H29年度分と地震巡回パネル展を含む) 平成30年度新潟地震巡回パネル展 5/25～6/12(406人)
7月	790	第35回菱湖会書展 7/13～7/16(313人) 第21回松蔭賞書道展 7/28～8/26 北区の戊辰戦争ゆかりの地バス巡り 7/21(23人)
8月	952	第21回松蔭賞書道展 7/28～8/26(1,015人)
9月	1,040	第12回新潟市北区こども科学展 9/22～10/8 北区の戊辰戦争ゆかりの地バス巡り 9/24(20人)
10月	698	第12回新潟市北区こども科学展 9/22～10/8(1,096人)
11月	990	第28回博物館まつり 11/2～11/4(延べ394人) 弦巻松蔭一学書と模索の時代展 11/17～12/16
12月	418	弦巻松蔭一学書と模索の時代展 11/17～12/16(652人)
1月	442	昭和のくらし展―「着る」にまつわる道具たち 1/4～5/19
2月	701	昭和のくらし展―「着る」にまつわる道具たち 1/4～5/19
3月	516	昭和のくらし展―「着る」にまつわる道具たち 1/4～5/19
合計	8,265	

■館外事業参加者数 合計876人
 ・「北区伝統芸能文化の祭典」11/25 (延べ600人)
 ・出前授業(北区内小学校)9/13・1/30・2/6 (276人)

〔寄贈資料紹介〕

平成30年度、次の方々より貴重な資料の寄贈を受けました。厚くお礼申し上げます。

【美術資料】

大島 真澄様(西区)……………阿部半雅 軸2点
 長谷川義明様(西区)……………高橋清 彫刻「ひと1991-1」
 山田ミチコ様(北区)……………遠藤七郎 軸1点

【歴史資料】

阿部 紀夫様(北区)……………真嶋家関係資料3点
 高橋 浩 様(北区)……………旧葛塚小学校体育館火災写真3点
 公益財団法人新潟県自治研究センター様(中央区)…木崎小作争議関係新聞コピー(大正15年頃)

【民俗資料】

高橋 博隆様(北区)……………懐宝数引節用集(和本)、棟上祭関係祝詞(卷子)
 佐藤トシエ様(北区)……………鯨尺2点
 米田 正作様(北区)……………鯨尺
 早川ミハル様(北区)……………男児の着物1点

【図書】

新発田郷土研究会様(新発田市)…新発田郷土研究会編「新発田郷土誌第46号」
 里村 洋子様(北区)……………里村洋子著「丹藤商店ものがたり」など2冊
 岡村 鉄琴様(中央区)……………越佐文人研究会編「新潟県文人研究第21号」など2冊
 村山 幹夫様(東区)……………大形ちいき学会編「大形のむかし 歴史編」
 上松 鉄雄様(北区)……………小島勝治著「西郷隆盛、新潟松浜滞陣の謎」など2冊
 高橋 郁丸様(中央区)……………高橋郁丸著「妖怪文化 創刊号」
 高橋 剛 様(北区)……………NPO法人新潟水辺の会編「2016年新潟市里潟学術研究 北区の松浜の池、内沼潟の調査 報告書」
 一般財団法人下越農人会館様(五泉市)…石田宥全著「農民運動の理論と実際」(復刻版)
 関口 忠邦様(北区)……………関口忠邦著「新潟県の天然物方言集『方言名・地方名』から標準和名を検索」など2冊

【映像資料】

大野 真一様(北区)……………DVD「守ろう 伝えよう 高森の大ケヤキ」計5点

【寄贈のお願い】

当館では、資料の充実を図るため収集活動を行っています。ご寄贈いただける資料がありましたらお知らせください。

戊辰戦争150年関連イベント

当館は、明治百年を記念して昭和43(1968)年11月に開館しました。平成30(2018)年は、開館50年にあたるとともに、明治150年・戊辰戦争150年にあたります。当館では、これに関連しバス巡りを主催しました。また、新潟戊辰の会作成の小冊子『新潟市の戊辰戦争の史跡を巡る』への寄稿や、市民フォーラムへの協力などを行いました。

北区の戊辰戦争ゆかりの地バス巡り

写真上

北越戊辰戦争では、武士だけではなく、草莽(そうもう)の人々も武器を持って戦いました。北区葛塚の庄屋の家に生まれた遠藤七郎昭忠は、新政府軍が太夫浜から松ヶ崎浜にかけての浜辺(現北区)に上陸した時、新発田藩とは別に駆けつけ、長州藩に属し、赤谷(現新発田市)で会津藩との死闘を繰り広げました。その遠藤七郎を中心とした北区の戊辰戦争の足跡をたどるツアーを、当館主催で7/21と9/24に実施しました。

会津・越後・長州3地域連携市民フォーラム

写真下

遠藤七郎は、会津戦争で敗れた山川健次郎(後の東京帝国大学総長)たち会津の少年を自邸に匿いました。その縁から、10/6に北区の豊栄地区公民館を会場に、会津・越後・長州3地域連携市民フォーラム(主催 明治150年プロジェクト実行委員会)が開催されました。職員による講演や、関連パネルの作成・展示、テレビ番組撮影などに協力しました。



常設展示案内ガイドブックを頒布しています!



常設展示がリニューアルし、平成28(2016)年11月にグランドオープンしました。新しくなった展示内容を紹介するために「常設展示案内 阿賀北の大地と人々の暮らし」を頒布しています。

本の中では、展示していない収蔵資料についても触れ、常設展示を丁寧に解説・補足し、身近にある北区の歴史、地理、民俗、弦巻松蔭の書の世界についての概要がつかめる内容となっています。

「展示解説をじっくり読みたかった」「家に帰ってからも少し詳しく調べたかったので便利」などと、好評をいただいています。当館窓口で頒布(1冊1,000円)していますので、ぜひお手に取ってみてください。

東部緑道側の木道橋が新しくなりました!



桜並木が続く東部緑道から、当館に入る木道橋が平成31(2019)年3月に新しくなりました。米松(ベイマツ)の板には、真新しい塗装が施されていますが、薄い塗装ですので木肌が感じられます。きれいな橋で東部緑道との一体感が増しました。

花と緑の季節には、多くの人たちが緑道を通って福島潟まで散策に行かれるようです。緑道散策の折、是非、新しい木道橋を渡って当館にもお立ち寄りください。

